

7 水環境関係データ

■概要

(1) 河川

2017(平成 29)年度の公共用水域の水質測定計画に基づき、府内の 100 河川 139 地点（環境基準点 94 地点、準基準点 45 地点）について水質調査、及び 30 地点について底質調査を実施しました。

健康項目で環境保全目標を達成しなかったのは、ほう素（7 地点）でした。これらの地点はいずれも河口部であり海水の影響によるものです。なお、環境保全目標を達成しなかったいずれの地点においても、上水道水源としての利用はありません。（7-1）

生活環境項目では、河川の代表的な汚濁指標とされている BOD をみると、環境保全目標が定められている 81 河川水域のうち 77 河川水域で目標を達成し、その達成率は、95.1%でした。（7-2）

(2) 海域

2017(平成 29)年度の公共用水域の水質測定計画に基づき、大阪湾内 22 地点について水質調査、及び 5 地点について底質調査を実施しました。

海域の代表的な汚濁指標とされている COD については、兵庫県域も含め、類型指定されている 12 水域のうち 8 水域で環境保全目標を達成しました。（7-5）

なお、大阪府域の環境基準点 15 地点の表層をみると 7 地点で環境保全目標を達成しました。（7-6）

また、富栄養化の主要な原因物質とされている全窒素や全りんに係る環境保全目標達成状況についてはⅡ、Ⅲ、Ⅳ類型すべての海域で目標を達成しました。（7-7） 全窒素や全りんの濃度は、ここ数年横ばいの傾向を示しています。（7-8， 7-9）